

# つたえるけん 長崎市

グラバーの縁でラグビースコットランド代表の  
キャンプ地となった長崎市  
ラグビーを通じた国際交流が  
まちに活気を与えています



今月のつたえるひと  
まつもと ひろし  
松本浩さん

五島市出身。長崎西高、日本体育大学でラグビー選手として活躍。卒業後は長崎総合科学大学附属高校で教員を務める（現在は校長）。長崎県ラグビーフットボール協会理事長、長崎県体育協会理事。



## グラバー園

スコットランド出身の貿易商、トーマス・グラバーの邸宅「旧グラバー住宅」(2021年3月まで保存修理工事中)をはじめ、3つの国指定重要文化財の住宅と、市内に点在していた6つの明治期の洋館を移築復元しています。



## 小菅修船場跡

グラバーが外国船の修理を目的に、1869年に完成させた明治初期の洋式の船台。船を載せるレール上の台がそろばん状に見えたため、「ソロバンドック」と呼ばれています。

## 子どもたちに見せてあげたい 世界トップクラスのプレー

いよいよ今年9月20日から始まるラグビーワールドカップ日本大会。長崎市は世界ランキング7位の強豪、スコットランド代表の公認および事前キャンプ地となっています。その縁をつないでくれたのは、グラバー園でおなじみのスコットランド出身のトーマス・グラバーです。

2015年から長崎市と長崎県ラグビーフットボール協会は、グラバーとの歴史を頼りに、スコットランドラグビー協会に対しキャンプ地誘致活動を開始しました。その際、スコットランドラグビー協会は長崎市民が150年も前のつながりを今も大切にしているということに深く感動し、結果として長崎市をキャンプ地を選んでくれました。

以来、長崎市とスコットランドには新たな交流が生まれ、県ジュニア選抜チームがスコットランド遠征を行ったり、反対にスコットランドジュニア選抜チームを長崎に迎えたりしています。また、3年前にスコットランド代表選手が来崎した際には、ラグビー教室が開催されたほか、スコットランドの花であるアザミをあしらったエンブレム付きのラグビーボールを市内の小中学校にプレゼントしていただきました。

長崎県ラグビーフットボール協会の活動は、「すべては子どもたちのために！」を目的に掲げて取り組んでいます。キャンプ地誘致活動も、子どもたちに世界トップクラスのプレーを見せてあげたいという思いで進めてきました。県内では島原市もトンガチームの公認キャンプ地になっていますが、重要なのはワールドカップ終了後の「レガシー」(遺産)です。世界トップクラスのチームのキャンプ地受け入れの実績を生かして、今後のスポーツ振興につなげていきたいですね。ラグビーをきっかけとしたスコットランドとの文化交流や経済交流にも期待しているところですが、県民の皆さんも改めて長崎市内に残るスコットランドゆかりの地を巡ってみてはいかがでしょうか。150年前の歴史に触れることで、スコットランドに親しみが生まれ、ラグビーワールドカップ日本大会をさらに楽しめると思います。



## スコットランドチームとの 交流事業

事前キャンプおよび公認キャンプで長崎市内に滞在するスコットランドチーム。試合までの練習や体調管理などを行います。期間中にはラグビー教室など地元の人たちとの交流事業も予定されています。

と き: 9月10日(火)~※  
と ころ: 長崎総合運動公園(長崎市柿泊町)  
問合せ: 長崎市スポーツ振興課  
☎095-824-3728

※詳しくは、長崎市公式観光サイト「あっ!とながさき」で発表されますので、ご確認ください



## ラグビーワールドカップ日本大会 スコットランド代表 対 日本代表 パブリックビューイング

神奈川県横浜で開催されるスコットランド代表対日本代表の試合をみんなで観戦します。事前申込は不要です。お気軽にご参加ください。(19時45分キックオフ)

と き: 10月13日(日)  
と ころ: 長崎市内※  
問合せ: 長崎市スポーツ振興課  
☎095-824-3728

※詳しくは、長崎市公式観光サイト「あっ!とながさき」で



**高島**  
グラバーは、開国に伴い、1868年、佐賀藩と共同で高島炭鉱開発に着手し、日本初の蒸気機関による堅坑「北溪井坑」を建設。また、同年、島内に洋風の邸宅を築き、1873年まで居住しました。(写真は北溪井坑跡)

グラバーも眺めた絶景が  
広がるとびきりのビュースポット。  
いつ訪れても美しい花々が  
咲き誇っています

三菱長崎造船所ジャイアント・  
カンチレバークレーン

海を望む芝生  
広場が広がっています。  
スコットランドチームの選手が  
散歩する風景に出会えるかも?

## スコットランドラグビー協会からの 贈り物「長崎タータン」

「長崎タータン」とは、スコットランドの花「アザミ」と長崎市の花「アジサイ」の紫、長崎代表のチームカラーの緑を基調に作られたオリジナルデザインです。スコットランド代表のユニフォームにも取り入れられています。

表紙のはなし  
『小菅修船場跡の曳揚げ小屋』  
小菅修船場跡に残るれんが造りの曳揚げ小屋の中には、建設時に英国から取り寄せた四段減速曳揚機(手前)とボイラー(奥)があります。



長崎タータングッズに関する問合せ:  
長崎県ラグビーフットボール協会 ☎095-846-8104